

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	大阪芸術大学短期大学部
設置者名	学校法人塚本学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・ 通信制の 場合	実務経験のある 教員等による 授業科目の単位数				省令 で定め る基準 単位数	配置 困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
(通学課程)	保育学科	夜・ 通信			8	8	7	
	メディア・芸術学科			2	8	10		
	デザイン美術学科				10	12		
(通信制課程)	通信教育部保育学科	夜・ 通信			23	23	7	
(備考) 英米文化学科、通信教育部デザイン美術学科（2018年度学生募集停止）を除く。								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<p>ホームページ上で公表</p> <p>保育学科 http://hoiku.osaka-geitan.jp/introduction/curriculum.html</p> <p>メディア・芸術学科 https://osaka-geitan.jp/departments/mediaarts/curriculum.html</p> <p>デザイン美術学科 https://osaka-geitan.jp/departments/designarts/curriculum.html</p> <p>通信教育部保育学科 http://www.jcc.osaka-geidai.ac.jp/tandai/admission/course/primaryeducation/</p>

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大阪芸術大学短期大学部
設置者名	学校法人塚本学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ上で公表

<http://www.osaka-geidai.ac.jp/geidai/guide/financial/index.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	・ 国立大学元教授 ・ 私立幼稚園理事	2018. 3. 28 ～ 2022. 3. 27	総務担当
(備考) 2020年4月1日までに、複数の学外者である理事の選任を確実に実施する。			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大阪芸術大学短期大学部
設置者名	学校法人塚本学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画書(シラバス)の作成については、授業科目担当教員が入力システムより、テーマと目的、授業概要、成績評価方法・基準、授業計画各回の授業内容等を入力し、それぞれの科目の持つ意義を示している。公表については、前年度3月下旬に本学ホームページ内のシラバス検索システムにて公開している。</p> <p>通信教育部においても、通信授業科目、面接授業科目(スクーリング)といった科目の授業形態に適したシラバス(記載事項は通学課程に準ずる)を各担当教員が作成の上、ホームページ上で公開している。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>ホームページ上で公表</p> <p>通学課程 https://u1.osaka-geidai.ac.jp/up/faces/login/Com00501B.jsp</p> <p>通信教育 http://www.jcc.osaka-geidai.ac.jp/tandai/stud/syllabus/</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>履修した授業科目については各授業回数の2/3以上の出席を条件とし、学習状況とその成果について試験、及びレポート、作品の提出等担当教員の成績評価の方法・基準に基づいて成績評価が行われる(シラバス参照)。</p> <p>成績評価は、60点以上の評価を得た者を合格とし、合格科目に対しては、その科目の修了を認定し、所定の単位を与えている。</p> <p>成績は100点をもって満点とし、60点以上を合格とする。その評点は次のとおり。</p> <p>100点～80点 … A</p> <p>79点～70点 … B</p> <p>69点～60点 … C</p> <p>59点以下 … 不可</p> <p>また、通信教育部においても、各受講科目の構成要件(課題提出、試験、スクーリング等)について、授業計画書(シラバス)に記載された成績評価の方法、基準に則って学修成果の評価を行い、60点以上の評価を得た者を合格とし、合格科目に対しては、その修了を認め所定の単位を与えている。評点は通学課程に準ずる。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

履修した授業科目は、学習状況とその成果について試験及びレポート、作品の提出等担当教員の成績評価方法・基準に基づいて、成績評価が行われる（シラバス参照）。

学則第 16 条により、試験の成績は 100 点をもって満点とし、60 点以上をもって合格とする。その評価は次のとおりとする。

成績評価点	成績評価
100 点～80 点	A
79 点～70 点	B
69 点～60 点	C
59 点以下	Dとして不合格とする

成績評価については、前期末および後期末に保護者宛に通知するとともに Web 情報システムでも配信する。

下記の算出式で求められた学生各々の平均点を序列化し、学生が所属学科のどの位置にあるかを把握することができる。

$$\text{【学生個人の平均点】} = \frac{\text{履修科目の評価点の総和}}{\text{履修科目数}}$$

客観的な指標の
算出方法の公表方法

ホームページ上で公表
 通学課程 <https://osaka-geitan.jp/guide/img/financial/pdf/2018/172-2-6-2.pdf>
 通信教育 http://www.jcc.osaka-geidai.ac.jp/tandai/?attachment_id=529

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本学ではディプロマ・ポリシーを「建学の精神を体現し、教育者、クリエイター、そして心身ともに健全な社会人として社会に貢献しうる能力を学修していることを求める。卒業所要単位の修得により、学位を授与する。」と策定している。卒業所要単位は 62 単位であり、成績は試験及びレポート、作品の提出等成績評価方法・基準に基づいて行われている。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

ホームページ上で公表
<https://osaka-geitan.jp/guide/philosophy.html>
 学生便覧（入学時配付）

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	大阪芸術大学短期大学部
設置者名	学校法人塚本学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ上で公表 http://www.osaka-geidai.ac.jp/geidai/guide/financial/index.html
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告(書)	

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: ホームページ上で公表 https://osaka-geitan.jp/guide/financial.html

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 保育学科、メディア・芸術学科、デザイン美術学科、通信教育部保育学科
教育研究上の目的（公表方法：ホームページ上で公表 https://osaka-geitan.jp/guide/philosophy.html ）
<p>（概要）</p> <p>本学の教育目的は「本大学は学校教育法に則り、保育、メディア・芸術、デザイン美術に関する専門の学芸につき教授研究を行い、併せて一般教養による人格の陶冶に努め、幼稚園の教員及び保育士となる者のためにこれに関する専門的職能教育を施し、以って実社会に貢献し得る人材を育成することを目的とする。」としており、ホームページ、学生に入学時に配付する学生便覧にて公表している。また、各学科の人材養成目的も併せて公表している。</p>
卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページ上で公表 https://osaka-geitan.jp/guide/philosophy.html ）
<p>（概要）</p> <p>卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）については、「建学の精神を体現し、教育者、クリエイター、そして心身ともに健全な社会人として社会に貢献しうる能力を学修していることを求める。卒業所要単位の修得により、学位を授与する。」とし、また、学科ごとの特性による修得目標を定め、学位の授与に必要な学びを示し、ホームページ、学生便覧で公表している。</p>
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページ上で公表 https://osaka-geitan.jp/guide/philosophy.html ）
<p>（概要）</p> <p>教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）については、「広く知識を求めて学術の研究に励み、専門的技術の習熟に努め、もって心身ともに健全な文化人を育成することを理念とし、①「総合教育科目」、②「専門教育科目」により構成している。また、学科ごとの特性による内容で学びの目標を定めている。ホームページ、学生便覧で公表している。</p>
入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページ上で公表 https://osaka-geitan.jp/guide/philosophy.html ）
<p>（概要）</p> <p>入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）については、「本学の入学者の受入について、教育目的の達成に必要な下記の資質を評価基準としている。」とし、学科ごとに示している。</p> <p>保育学科、通信教育部保育学科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来幼児教育・保育に携わることを目標としている人物 ・幼児教育・保育に関する専門知識や技術を高めることを目指している人物 ・豊かな人間性を育み、常に研究心を持って学業に専念する人物 <p>メディア・芸術学科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メディア・芸術に対して幅広い興味、深い関心、強い好奇心を持っている人物 ・メディア・芸術への表現に対する強い興味を持っている人物 ・自ら課題を見出し、解決しようとする意欲を持っている人物 ・基礎的な学力や創造力、柔軟な思考力を持っている人物

デザイン美術学科

- ・芸術文化に対して幅広い興味、深い関心、強い好奇心を持っている人物
- ・表現に対する強い意欲を持っている人物
- ・自ら課題を見出し、解決しようとする意欲を持っている人物
- ・基礎的な学力や造形力、柔軟な思考力を持っている人物

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：ホームページ上で公表

<https://osaka-geitan.jp/guide/financial.html>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手その他	計
—	0人	—					0人
(通学課程)	—	20人	17人	4人	0人	0人	41人
通信教育部	—	11人	1人	10人	0人	0人	22人
b. 教員数（兼務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長		学長・副学長以外の教員			計	
	1人		210人			211人	
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：ホームページ上で公表 https://osaka-geitan.jp/guide/financial.html					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
保育学科	100人	102人	102%	200人	164人	82%		0人
デザイン美術学科	160人	111人	69.4%	320人	232人	72.5%		0人
メディア・芸術学科	160人	145人	90.6%	320人	269人	84.1%		0人
計	420人	358人	85.2%	840人	665人	79.2%		人
通信教育部保育学科 保育コース	250人	111人	44.4%	850人	496人	58.6%	50人	9人
通信教育部保育学科 幼稚園コース	250人	266人	106.4%	550人	560人	101.8%	50人	3人
計	500人	377人	75.4%	1,400人	1,056人	75.4%	100人	12人
(備考) 英米文化学科、通信教育部デザイン美術学科（2018年度学生募集停止）を除く。								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
保育学科	60人 (100%)	0人 (0%)	56人 (93.3%)	4人 (6.7%)
デザイン美術学科	98人 (100%)	14人 (14.3%)	34人 (34.7%)	50人 (51%)
メディア・芸術学科	146人 (100%)	7人 (4.8%)	55人 (37.7%)	84人 (57.5%)
合計	304人 (100%)	21人 (6.9%)	145人 (47.7%)	138人 (45.4%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) 科目名、授業開講期間、教員名、テーマと目的、授業概要、受講上の注意、成績評価方法・基準、教科書・参考書、授業計画(各回予定)を記載した授業内容(シラバス)をホームページで公開している。
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)

履修した授業科目については各授業回数の2/3以上出席し、学習状況とその成果について試験、及びレポート、作品の提出等担当教員の成績評価の方法・基準に基づいて成績評価が行われる(シラバス参照)。

成績評価は、60点以上の評価を得た者を合格とし、合格科目に対しては、その科目の修了を認定し、所定の単位を与えている。

成績は100点をもって満点とし、60点以上を合格とする。その評点は次のとおりとする。

- 100点～80点 … A
- 79点～70点 … B
- 69点～60点 … C
- 59点以下 … 不可

また、通信教育部においても、各受講科目の構成要件(課題提出、試験、スクーリング等)について、授業計画書(シラバス)に記載された成績評価の方法、基準に則って学修成果の評価を行い、60点以上の評価を得た者を合格とし、合格科目に対しては、その修了を認め所定の単位を与えている。評点は通学課程に準ずる。

学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
(通学課程)	保育学科	62 単位	有・無	単位
	デザイン学科		有・無	単位
	メディア・芸術学科		有・無	単位
(通信制課程)	通信教育部保育学科	62 単位	有・無	単位
GPAの活用状況(任意記載事項)		公表方法:		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法:		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法: ホームページ上で公表

<https://osaka-geitan.jp/guide/campus/index.html>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
(通学課程)	保育学科	700,000円	250,000円	300,000円	その他費用は 施設設備費 (年額)を計上
	デザイン美術学科	720,000円	320,000円	360,000円	
	メディア・芸術学科	720,000円	320,000円	360,000円	
(通信制課程)	通信教育部保育学科 保育コース(3年制)	100,000円	25,000円	70,600円	その他費用は 面接授業受講料、 テキスト代の 平均額(年間)を 計上
	通信教育部保育学科 幼稚園コース(2年制)			71,000円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>新入生全員にガイダンス・フレッシュマンキャンプにおいて教員、職員による個別履修指導を行っている。授業開始後は、「プレ・ゼミナール」において各担当教員が個々の学生と面談を行い指導している。</p> <p>通信教育部においても、新入生を対象に新入生ガイダンスを実施し、通信教育の学修にスムーズに取り掛かれるよう支援を行っている。</p>
b. 進路選択に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>進路選択に係る支援については就職課が行なっている。就職課は部長(教員兼務)と専任職員で構成されている。また、就職委員会を設置し各学科の就職委員と常に連携を取りながら、学生のキャリア支援を行っている。業務としては「就職及び進路の適切な指導・助言・支援活動」「就職及び進路等に関する情報の収集と発信」「企業や園への訪問などによる求人開拓」に取り組み、行事としては「就職・進路ガイダンス」「就職試験対策講座」「公務員対策講座」「学内合同企業説明会」などを実施している。</p> <p>通信教育部では、生涯学習・リカレント教育といった課程の性格上、進路選択に関する組織立った支援は行っていない。但し、希望者がある場合には、就職課主催のガイダンスやセミナーへの参加等を認めている。</p>
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>心身の健康等に係る支援について、心的相談については学生相談室、健康相談については保健室、その他生活相談については学務課で対応している。</p> <p>また、担任制を導入しているため、学科の教員とも連携をとり、情報を共有しながら支援を行なっている。</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：ホームページ上で公表

<https://osaka-geitan.jp/guide/financial.html>